

平成 14 年 2 月期 第 1 四半期の業績等の概況

会 社 名 株式会社 スギ薬局
 (コード番号 7649NJ)
 本社所在地 愛知県安城市二本木町二ツ池33番地5
 問 合 せ 先 責任者役職名 取締役管理本部長
 氏名 増田 泰朗
 TEL 0566 - 73 - 6300

1 業 績

(百万円未満切捨、小数第1位未満を四捨五入)

(1) 平成 14 年 2 月期第 1 四半期 (平成 13 年 3 月 1 日 ~ 平成 13 年 5 月 31 日) の業績

	14 年 2 月期第 1 四半期 (当四半期)	対前年同 期増減率	13 年 2 月期第 1 四半期 (前年同四半期)	参 考 前期 (通期)
売 上 高	12,050 百万円	34.3%	8,973 百万円	40,176 百万円
営 業 利 益	846	26.5	669	2,632
経 常 利 益	944	32.4	713	2,876

(2) 部門別の売上高内訳

	14 年 2 月期第 1 四半期 (当四半期)		対前年同 期増減率 %	13 年 2 月期第 1 四半期 (前年同四半期)		参 考 前期 (通期)	
	金 額	構成比		金 額	構成比	金額	構成比
	百万円	%		百万円	%	百万円	%
調剤	586	4.9	47.5	397	4.4	1,793	4.5
ヘルスケア	3,944	32.7	42.9	2,760	30.8	12,476	31.0
ビューティケア	2,997	24.9	36.4	2,197	24.5	9,684	24.1
ホームケア	2,571	21.3	28.0	2,008	22.4	9,251	23.0
パピーケア	992	8.2	18.3	838	9.3	3,684	9.2
その他	876	7.3	23.0	712	7.9	3,016	7.5
小計	11,967	99.3	34.3	8,913	99.3	39,907	99.3
その他収入	82	0.7	37.6	60	0.7	268	0.7
合 計	12,050	100.0	34.3	8,973	100.0	40,176	100.0

(3) 主な資産・負債の変動について

項 目	14 年 2 月期第 1 四半期	増減額	前期末
(資 産)	百万円	百万円	百万円
現金及び預金	8,123	444	8,567
商品	5,974	1,100	4,873
土地	460	265	194
営業権	210	206	4
(負 債)			
買掛金	6,884	1,491	5,392
未払法人税等	531	370	901

(注) 当四半期に係る数値について、公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

2 業績の概況

わが国の経済は、小泉政権が誕生し「構造改革なくして景気回復なし」と訴え、非常に高い支持率のもとで経済緊急対策の早期実現が期待されましたが、内閣府は、景気後退局面に入った確率が高いと警戒感を強め、「景気が下向きにあるという方向感を示している」との見方を説明しております。具体的には、個人消費は「おおむね横ばいの状態が続いている」が、所得や雇用環境は依然と厳しく、倒産件数、負債総額ともに高水準が続き、消費者心理は急速に冷え込んで足元で弱い動きが見られます。一方、設備投資も「頭打ちとなっている」とし、先行きについても「弱含みの兆しが見られる」と懸念されております。金融機関の不良債権処理、雇用対策、各企業の新会計基準の対応、日経平均株価の安値等、景気回復対策が山積されております。

そのような厳しい経済環境の中で小売業は全体的に低調に推移しており、当社が置かれておりますドラッグストア業界も、以前のような高成長は難しくなりつつあります。ドラッグストア同士の競争が激化し、ドラッグストアの再編成の波が大きく動きつつあります。このような状況の中、当社は全店調剤併設型のビジネスモデルに基づいた経営理念を推進し、当四半期に10店舗新店をオープンいたしました。3月には、当社としては初めて、中部地区の代表的ビジネス街のひとつである名古屋市中区(第113号店伏見店)への出店を行い、続いて5月には最初の繁華街立地となる名古屋市千種区(第117号店今池店)に出店いたしました。

また、前期9月より稼動した新顧客システムは以前にも増してお客様へのサービス向上のために、どの店舗でもポイントが加算されるようにバージョンアップを致しました。今後は蓄積された個々のお客様のデータを分析し、よりお客様のニーズに合った質の高いサービスを行えるシステムの構築をまいります。

また、イオン・ウエルシア・ストアーズのPB商品も順次、開発されております。顧客売上単価が低下する傾向が続く中で、これらは低価格で品質も良く、顧客ニーズに充分応えられ、安定的な利益確保ができるものと確信し、積極的に推奨販売を進めて参ります。そのため、社員全員がより専門的な知識をもってお客様にアドバイスできるよう、テレビ会議システムを利用して知識強化を図って参ります。

(売上高)

当四半期の売上高は、12,050百万円(対前年同四半期比34.3%増、3,076百万円増)となりました。

主力部門である調剤・ヘルスケア・ビューティケアの伸びが全体の伸びより高く、前年同期または前期と比べ同部門の売上高構成比率は上昇しております。

これは、3月に花粉症による鼻炎薬等の販売が好調だったのと同時に店舗スタッフの教育効果が徐々に現れ、お客様に対して適切なカウンセリングができるようになってきたためと考えております。

(売上原価および売上総利益)

当四半期の売上原価は、8,729百万円(対前年同四半期比33.3%増、2,181百万円増)となりました。売上総利益は、3,320百万円(対前年同四半期比36.9%増、894百万円増)となりました。

これは、利益率の高い部門の売上高構成比が上昇したことによります。

（販売費および一般管理費）

当四半期の販管費は、2,473 百万円（対前年同四半期比 40.8%増、717 百万円増）となり、販管費比率も前年同四半期 19.6%に対し、当四半期は 20.5%と 0.9 ポイント上昇致しました。

これは、広告宣伝費が増加していること、採用の前倒しによる人件費の増加及び積極的な出店の継続により、地代家賃、減価償却費及び水道光熱費等が増加していることによります。

（営業利益）

当四半期の営業利益は、売上高が伸びたことを背景に、846 百万円（対前年同四半期比 26.5%増、177 百万円増）となりました。売上高営業利益率は前年同期の 7.4%から 7.0%になりました。

	14 年 2 月期 第 1 四半期 (当四半期)	13 年 2 月期 第 1 四半期 (前年同四半期)
営業利益	846 百万円	669 百万円
売上高営業利益率	7.0%	7.4%

（その他収益および費用）

当四半期のその他収益に関しましては、営業外収益が 105 百万円（対前年同四半期比 80.8%増、47 百万円増）となりました。営業外費用は、8 百万円（対前年同四半期比 44.8%減、6 百万円減）となりました。

営業外収益の主なものは、広告用器具受贈益 40 百万円、受取手数料 38 百万円であります。

（当期純利益）

当四半期の当期純利益は、473 百万円（対前年同四半期比 37.1%増、128 百万円増）となりました。売上高当期純利益率は、前年同期の 3.8%から 0.1 ポイント向上し、3.9%となりました。

今期からは退職給付引当金の新会計基準を適用しており、これにより生ずる移行時差異 112 百万円の 1/4 を当四半期に特別損失に計上しております。

（資産、負債、資本）

流動資産は、15,317 百万円（対前期末比 4.8%増、705 百万円増）となりました。現金及び預金は、前期末に比へまして 444 百万円減少しておりますが、棚卸資産は、10 店舗の新規出店及び今後の出店のための商品在庫が増加したこともあり、6,037 百万円（対前期末比 22.5%増、1,108 百万円増）となりました。

固定資産は、5,968 百万円（対前期末比 17.3%増、879 百万円増）となりました。これは新規店舗 10 店舗分の建物、土地及び差入保証金の増加が主な原因であります。

流動負債は、9,683 百万円（対前期末比 15.7%増、1,310 百万円増）となりました。買掛金が売上規模の増加に伴い、6,884 百万円（対前期末比 27.7%増、1,491 百万円増）となりました。

固定負債は、493 百万円（対前期末比 11.7%増、51 百万円増）となりました。

資本の部合計は、11,108 百万円（対前期末比 2.0%増、222 百万円増）となりました。

(設備投資)

当四半期の設備投資額は、有形固定資産 638 百万円、無形固定資産 229 百万円及び差入保証金 96 百万円の合計 963 百万円となりました。その主な内訳は下記のとおりです。

開店年月日	店名	所在地	金額
平成 13 年 3 月 11 日	城西店	三重県四日市市	40 百万円
平成 13 年 3 月 21 日	大府店	大府市大府町	66 百万円
平成 13 年 3 月 28 日	伏見店	名古屋市中区	90 百万円
平成 13 年 4 月 18 日	石巻店	豊橋市石巻本町	43 百万円
平成 13 年 4 月 25 日	藤岡店	西加茂郡藤岡町	73 百万円
平成 13 年 5 月 10 日	上前津店	名古屋市中区	43 百万円
平成 13 年 5 月 10 日	今池店	名古屋市中区	537 百万円
平成 13 年 5 月 23 日	笠松店	岐阜県羽島郡	49 百万円
平成 13 年 5 月 31 日	高浜店	高浜市神明町	67 百万円
平成 13 年 5 月 31 日	荒川店	岐阜県荒川町	64 百万円

(注) 設備投資の内訳には、前期支払いの建設仮勘定及び店舗賃借仮勘定の本勘定振替分も含まれております。

(キャッシュ・フロー)

当四半期の現金及び現金同等物は、税引前当期純利益が 918 百万円(前年同期比 30.4%増)と大きく増加しましたが、法人税等の支払、配当金の支払、固定資産の取得による支出等の要因により前期末に比べ 106 百万円減少し、6,215 百万円となりました。

また当四半期中における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当四半期において営業活動の結果得られた資金は 789 百万円(前年同期比 67.0%増)となりました。これは主に、税引前当期純利益 918 百万円に、減価償却費、未収入金の減少、支払債務の増加という資金増加要因に対し、たな卸資産増加、法人税等の支払等による資金減少要因があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当四半期において投資活動の結果使用した資金は 644 百万円(前年同期比 97.7%増)となりました。これは主に、有形・無形固定資産の取得及び差入保証金による支出で 954 百万円に対して、定期預金及び定期積金による資金の増加が 338 百万円あったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当四半期において財務活動の結果使用した資金は 251 百万円となりました。これは全て配当金の支払によるものです。

3 当期の見通し

第1四半期が経過し、売上高は予算に対し656百万円、5.8%上回り12,050百万円となりました。経常利益も予算に対し221百万円、30.7%上回り944百万円となりました。

今後の見通しとしては、現時点で売上高52,023百万円、経常利益3,226百万円は達成できるものと確信しております。

	14年2月期 第1四半期実績 (当四半期)	14年2月期 第1四半期予算 (当四半期予算)	達成率
売上高	12,050百万円	11,393百万円	105.8%
営業利益	846百万円	624百万円	135.7%
経常利益	944百万円	722百万円	130.7%

(注)以上の当社、予想数値、業績予測は、現在得られている各種情報などから判断した将来情報でございます。当社の市場における一般的な状況、天候、景気および消費動向の変化、消費者の嗜好変化などによるリスクや不確実性を含んでおります。

4 その他

当社の1単位の株式数は、平成13年5月14日の定時株主総会において定款の変更を行い、平成13年7月2日付で100株となります。